

脂 質 検 査 用

「セロテック」 **リピッドーL**

◆はじめに

「セロテック」リピッドーLはヒト血清を原料として調製し、変性がなく性状が実試料と近似した液状凍結品で、脂質項目のキャリブレータ、あるいは精度管理用血清として開発しました。

◆使用方法

25～37℃の水浴中で完全に融解させた後、ゆるやかに転倒混和し、すぐに使用できます。融解後は通常の検体と同様に取り扱いってください。

◆安定性

本品の融解前は、-15℃以下で凍結保存してください。なお、融解した後は2～10℃保存で2週間安定です。また、凍結融解は5回まで安定です。

※製品到着時に融解していた場合でも性能には影響ありませんが、すみやかに凍結保存してください。

◆貯法および有効期間

貯法：-15℃以下保存 有効期間：製造後1ヵ年

◆包装形態

製品コード：A241-50 包装：2ml×3

◆参考分析値

Lot No. 00000

成分(測定法)		分析値 ^{※1}	不確かさ ^{※2}	上位の標準物質
総コレステロール (コレステロールキシダーゼ法)	①	mg/dL ^{※3}		NIST SRM No. 911 コレステロール
	②	mg/dL ±	mg/dL	コレステロール・中性脂肪常用参照標準物質 ReCCS ^{※4} JCCRM223
中性脂肪 フリーグリセロール消去 (酵素比色法)		mg/dL ±	mg/dL	コレステロール・中性脂肪常用参照標準物質 ReCCS ^{※4} JCCRM223
リン脂質(コリンキシダーゼ法)		mg/dL		社内標準物質 塩化コリン

※1 脂質の各成分濃度はロットにより異なりますので注意してください。

※2 不確かさの評価および表現は日本臨床検査標準協議会(JCCLS)・認証委員会標準物質小委員会、(社)日本臨床検査薬協会(JACRI)・技術委員会報告の『企業が表示値と不確かさをキャリブレータに表示するためのガイドライン』(平成17年1月初旬)に基づいて表記しております。

※3 CDC/CRMLN(Cholesterol Reference Method Laboratory Network)国際レファレンスラボの値付けにトレースする場合はこちらの値を使用してください。

※4 一般社団法人検査医学標準物質機構(ReCCS)

◆使用上の注意

- 1)原料であるヒトプール血清中のHBs抗原、HIV抗体、HCV抗体は、EIA法にて陰性であることを確認してあります。しかしヒト血清に由来する試料中に感染性が全くないことを証明するための方法が、まだ確立されていません。患者血清と同様に注意して取り扱いください。
- 2)本品は、アジ化ナトリウムを含有しておりませんので、PODやカタラーゼに対する阻害はありません。



株式会社 セロテック